

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

29年度は、河川清掃活動には法人と市民参加が増え、前年度の1.5倍の増加となりました。清掃を通して川の観察や語り合いを重視し、川の魅力を伝えました。また、恒例の夏の川狩り（アユ）と名取広瀬川漁業協同組合共催の秋の（サケ）イベントには常連者も多く、例年通りの参加者が見られました。

本年は伊達政宗公生誕450年に当たることから、伊達政宗公生誕450年記念講演「河水千年の夢」を、12月6日楽楽ホールを会場に開催しました。伊達政宗公の街づくり、そして「騎馬像」制作者小室達（とおる）にスポットを当て、制作目的や、世界大戦による金属供出による騎馬像の撤去、遭遇から現在再建に至る経緯などについて、仙台市博物館の学芸員を交えて鼎談しました。

以下、報告とします。

記

1. 例会・総会

月 日		場 所
05/22	理事会	Mamma viva
05/26	第17回通常総会	太白区中央市民センター 地下展示室
10/28	サケ祭り、記念講演打合せ	当会事務所
30/01/06	「新年会」（広瀬川初歩き終了後）	蕎麦どころ 鹿落堂

2. 河川清掃

（年間参加人数 369名）

月 日	清掃場所		参加者
04/08	郡山堰～JR鉄橋 河川敷	会員・一般市民 花見会	参加者 37名
05/13	郡山堰～JR鉄橋 河川敷		雨天のため中止
06/10	郡山堰～JR鉄橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 43名
07/08	郡山堰～JR鉄橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 49名
08/12	郡山堰～JR鉄橋 河川敷		雨天のため中止
09/09	郡山堰～JR鉄橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 54名
10/14	郡山堰～JR鉄橋 河川敷	会員・一般市民 芋煮会	参加者 52名
11/11	郡山堰～JR鉄橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 47名
12/09	郡山堰～JR鉄橋 河川敷	会員・一般市民 焼き芋	参加者 57名
30/03/10	郡山堰～JR鉄橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 30名



4月清掃と花見会



10月清掃と芋煮会

### 3. イベント

<p>08/27</p>	<p>第17回「政宗さんの川狩り」(協力/広瀬名取川漁業協同組合)          —アユつかみと塩焼きを食べ、五感で感じる川体験—          連日の雨で増水、開催が危ぶまれましたが、昨年引き続き、広瀬名取川漁協の協力により、ビニールプールに放ったアユつかみ体験(参加無料)を開催しました。今回から事前参加申込みを中止し、参加者が自由にアユつかみ体験できるように変更          広瀬川の天然アユ他 400 匹を用意し、塩焼き、素揚げで販売しました。子供たちの歓声が響き渡り、アユつかみに夢中となりました。終了後、政宗公生誕 450 年を記念し、政宗公の墓所(瑞鳳殿)にアユを献上しました。(参加者 200名)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>11/03</p>	<p>第3回政宗さんの川狩り(広瀬川サケ祭り)(共催/広瀬名取川漁業協同組合)          広瀬名取川漁協との共催イベント。広瀬川に溯上するサケ資源保護と食材をPR。前日まで雨天による増水でサケつかみ体験は出来ませんでした。急遽、漁協組合員が背びれを見せて泳いでいるサケを投網で捕獲。参加した子供たちは、サケを抱き上げたり、タマゴに触ったり大喜びでした。漁協提供のイクラ飯、サケ汁、サケ販売によって大盛況のうちに終了。この様子は東北放送 N スタで放送され、翌朝の河北新報に開催記事が掲載されました。(参加者 200名)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

12/06	<p>伊達政宗公生誕 450 記年 記念講演会—河水千年の夢— 会場／楽楽楽ホール</p> <p>◇開会挨拶 伊達家十八代当主 伊達泰宗氏</p> <p>◇第一部 基調講演</p> <p>「河水千年の夢」—政宗が目指したもの—</p> <p>仙台博物館学芸普及室長 郷土史家 菅野正道氏</p> <p>「騎馬像製作者・小室達を語る」—芸術家の情熱</p> <p>元しばたの郷土館長 日下龍生氏、会長日下均</p> <p>◇第二部 対談</p> <p>菅野 正道氏×日下 龍生氏〔司会〕日下 均（広瀬川の清流を守る会代表理事）</p> <p>伊達政宗公の街づくりと、騎馬像制作者 小室達（とおる）に焦点を当て、制作過程や、大戦による金属供出によって騎馬像が撤去され、その後の再建に至る経緯について、郷土歴史家日下龍生氏、仙台市博物館の菅野正道氏を交えて鼎談しました。</p> <p>特に、日下龍生氏は、騎馬像の右後方の軍扇（ぐんせん）に、騎馬像に平和を希求する作者の意図が隠されていると解説しました。</p> <p>騎馬像は第二次世界大戦の金属供出で徴収され、現在の騎馬像は戦後、原型を基に作成された2代目の騎馬像です。</p> <p>時代に翻弄された小室達氏の光と影を語り合いました。</p> <p>小室達（とおる）（1899～1953） 柴田郡柴田町出身 東京藝大大学院卒</p>  
30/01/07	<p>「広瀬川初歩き」広瀬橋～向山～瑞鳳殿～鹿落堂</p> <p>終了後、広瀬川と市街地を眺望できる鹿落堂で美味しい蕎麦とお屠蘇を頂き、店員の美人談議で盛り上がりました。</p> <p>（参加9名）</p> 

#### 4. 広瀬川何でも相談室(受付 18 件)

広瀬川に関する質問、意見に対して回答。改善については行政に伝えました。

<主な質問、相談等>

- 広瀬川でバーベキューする際の河川使用手続き
- 広瀬川灯ろう流しの花火打ち上げ時間、イベント内容に関する質問
- 4月になってもオオハクチョウが飛び立たないのが心配だ。
- 広瀬川の流水減少によって広瀬橋近辺でサクラマスがへい死している

#### 5. 河川管理の要望等

##### (1) 広瀬川の流水の正常な機能の維持

広瀬川（広瀬橋）で減水と水温上昇酸欠下流でサクラマス100匹程がとなり、へい死した。

仙台市が、愛宕堰の取水によって流水のほぼ全量を取水によって下流が枯渇したのが原因。

広瀬川広瀬橋地点 2. 0m<sup>3</sup>/s(11～8 月) が守られていない。

⇒ 国交省管理課へ通知。市、土地改良区へ漁協と共に改善要請した。

- (2) アユ他の魚類の遡上、降下（生息できる環境保全）⇒ 国交省へ要請
- (3) 河川管理 権限移譲 ⇒ 仙台市に要望（継続）
- (4) 他要望等 ⇒ 清掃を通し、気づいた点の改善を国交省へ要望した。

6. ミズベリング活動 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課「ミズベリング・プロジェクト」  
水辺の活用を創造する取組推進にた団体と共に協力した。（広瀬川、閑上地区）

「ミズベリングプロジェクトin広瀬川」に関する本会活動

- (1) 7月7日午後7時7分 広瀬橋上流 水辺で乾杯（缶ビール片手に乾杯発声）  
仙台名物 笹かまぼことアユの塩焼きを提供、イベントを盛り上げました。（約68名）
- (2) 「エコな芋煮会in広瀬川」自主的にマナーを守り、環境に配慮した芋煮会の市民権を獲得する  
啓発をSNSで提案し、広瀬川に溯上するサケを提供して学生参加の普及を提案しましたが、  
学生の不参加から不調となりました。

以上